

利島におけるエダシヤク類防除対策の結果について

昨年、利島で大発生した森林病害虫トビモンオオエダシヤクによる椿林の被害を受け、都が利島村とともに進めてきた対策の結果について、お知らせします。

1 エダシヤク類防除対策の結果 ～幼虫は減少、椿林は回復傾向～

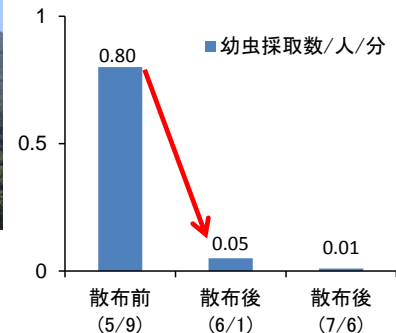
本年春から薬剤散布を実施した結果、エダシヤク類の幼虫生息数は大幅に減少しました。幼虫の生息密度調査*からも、薬剤散布後の生息密度は9割以上減少したことが確認されました。

その結果、幼虫による食害はほとんど見られなくなり、椿林は回復しつつあります。



※【調査主体】大島支庁、島しょ農林水産総合センター及び利島村
【調査方法】島内の調査地点（11か所）で、調査員が5分間で採取できた幼虫数をもとに、生息密度を算出

<トビモンオオエダシヤク幼虫の生息密度調査結果(H28)>



2 防除対策の概要

(1) 蛹の捕獲（平成28年2月6日）

幼虫の発生を抑制するため、土中の蛹（さなぎ）を掘り出す作業を実施し、約1,000個の蛹を捕獲しました。

(2) 薬剤の散布（平成28年4月27日～5月25日）

幼虫の防除では、幼令期の散布が有効であることから、昨年（5/14）より散布開始時期を早め、4月27日から約1か月間、薬剤を散布しました。



(3) 新機材の導入と薬剤散布範囲の拡大

都の支援のもと、高所散布に対応できる薬剤散布機を新たに導入し、昨年の78haを上回る146haの椿林に薬剤を散布しました。

3 今後の対応

今回の結果を踏まえ、「東京都エダシヤク類防除対策会議」を本年9月頃に開催し、来年度の防除対策等を検討する予定です（詳細は決まり次第お知らせします。）。

都は今後とも、利島村や関係機関との連携を深め、病害虫防除に対する技術的・財政的支援を行い、利島の椿林保全に積極的に取り組んでまいります。

【問い合わせ先】環境局自然環境部緑環境課

電話 03-5388-3551（内線 42-643）

利島におけるエダシヤク類防除対策の結果について



写真1 トビモンオオエダシヤク (中齢幼虫)



写真2 トビモンオオエダシヤク (雌・成虫)



写真3 利島村被害地遠景 (平成 27 年 7 月 22 日)



写真4 利島村被害地遠景 (平成 28 年 7 月 19 日)



写真5 利島村椿林 (平成 27 年 7 月 22 日)



写真6 利島村椿林 (平成 28 年 7 月 19 日)